

取扱説明書



ポンプヘッド

KT15



重要事項

商品をご使用前に必ず取扱書説明書をお読みください。

注意事項

- ▶ 取扱説明書の内容は製品の仕様変更などで予告なく変更される場合があります。
- ▶ チューブは消耗品です。消耗によって液漏れ等を起こす可能性があります。
その場合、送液の種類によっては人体や機器に影響を及ぼすことがありますので、都度チューブの状態をチェックし交換を行ってください。
- ▶ チューブのしごき位置を変更する場合は必ずポンプを停止して行ってください。回転したまま行う行為は指の裂傷や巻き込みなどに繋がります。
- ▶ ポンプヘッド内部には可動部があり、ポンプヘッドを開ける際には下記の事項を注意した上で行ってください。
 - ・ポンプの電源を切っていることを確認
 - ・チューブに何らかの圧力がかかっているか確認
 - ・チューブに断裂などがあり液体が漏れている場合、液体を適切に処理してから行う
 - ・劇薬などの危険物を送液している場合は必ず手及び目をサポートするものを装備して行う

目次

1. 商品説明	2
2. ポンプヘッドの部位名称	2
3. ポンプヘッドの外形図	4
4. ポンプヘッドの仕様	4
5. トラブルシューティング	5
6. メンテナンス	5
7. 保証とアフターサービス	6

1. 商品説明

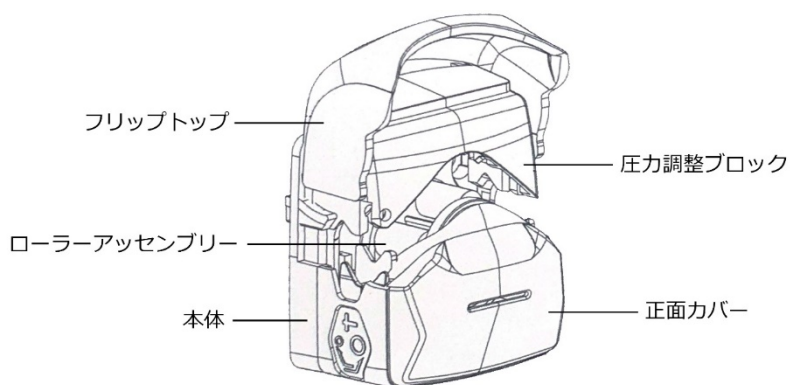
KT15 は小さいチューブ使用に開発されたフリップトップタイプのコンパクトデザインポンプヘッドです。

フリップトップを開けることでチューブセットができ、操作は極めてシンプルです。

弾力機能を備えたトラックはチューブの摩耗を軽減します。

半自動チューブクランプでチューブの付け外しがスピーディーに行え、かつ 4 種類のチューブサイズに対応します。

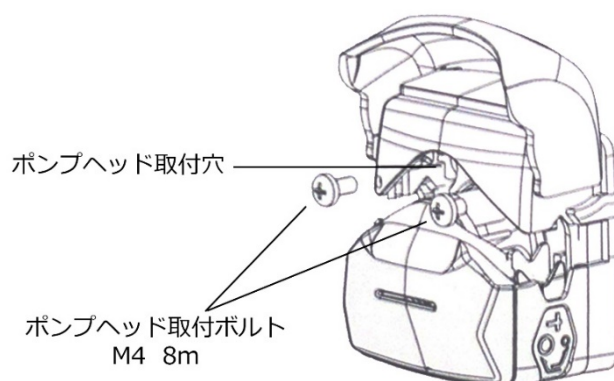
2. ポンプヘッド部位名称



2.1 ポンプヘッド取付

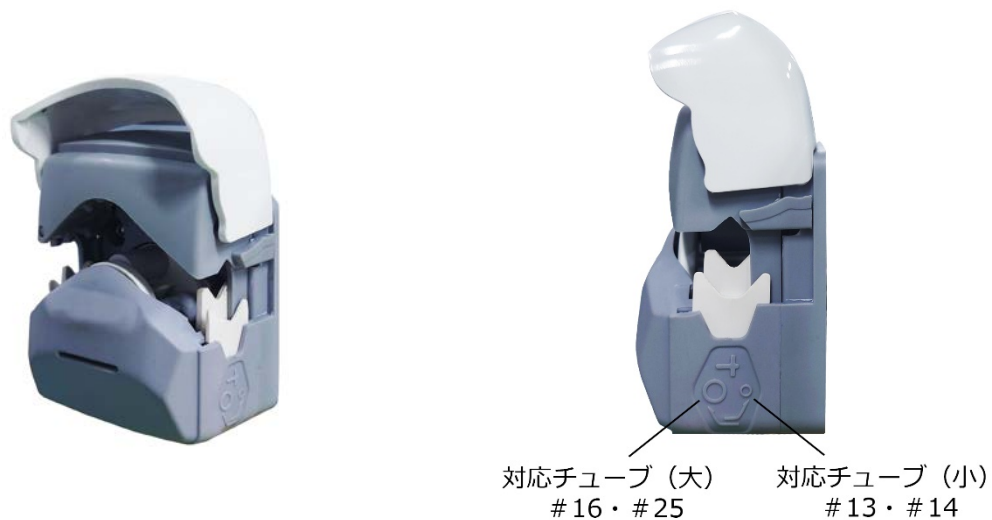
プレートへのポンプヘッド据付

ポンプヘッドのシャフトとモーター軸シャフトを一致させて 2 つのボルトネジをマウンティングプレートに締めこみます。なるべく 2 つのボルトを同時に締めこむようにしてください。



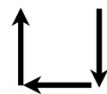
2.2 チューブ取付

①ポンプヘッドのフリップトップを開けて、使用するチューブサイズにチューブクランプを合わせます。

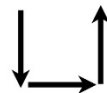


チューブクランプの小さな穴に細い器具を挿して押し下げたまま、使用チューブサイズ(下記参照)に合わせて左または右に動かします。押し下げた細い器具を穴から離すとチューブクランプが自動的に跳ね上がり、下部チューブクランプの調整は完了です。

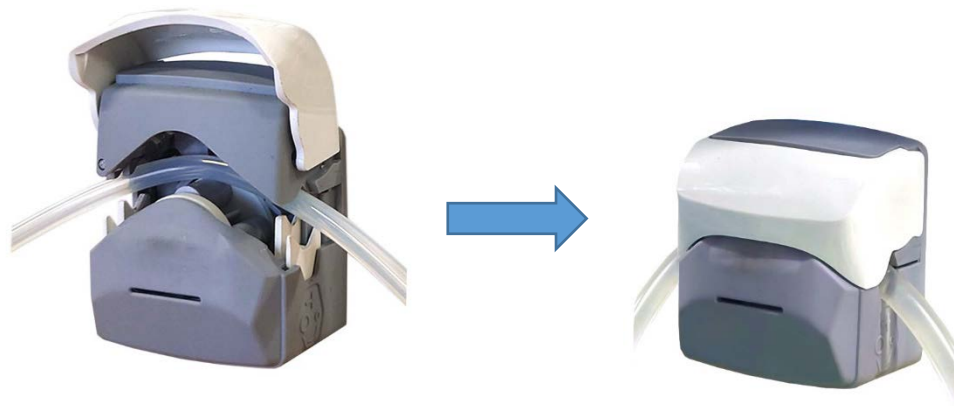
16・# 25チューブ使用時には
チューブクランプを左側に動かす



13・# 14チューブ使用時には
チューブクランプを右側に動かす

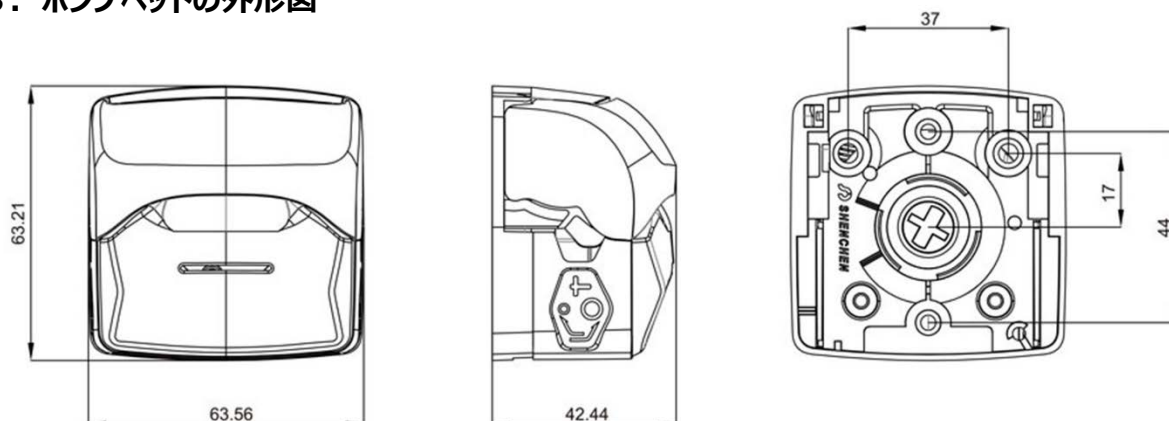


②チューブを掛けてフリップトップを閉じるとチューブセットが完了です



備考：時計回り回転でチューブの寿命が延びる方向になります。

3. ポンプヘッドの外形図

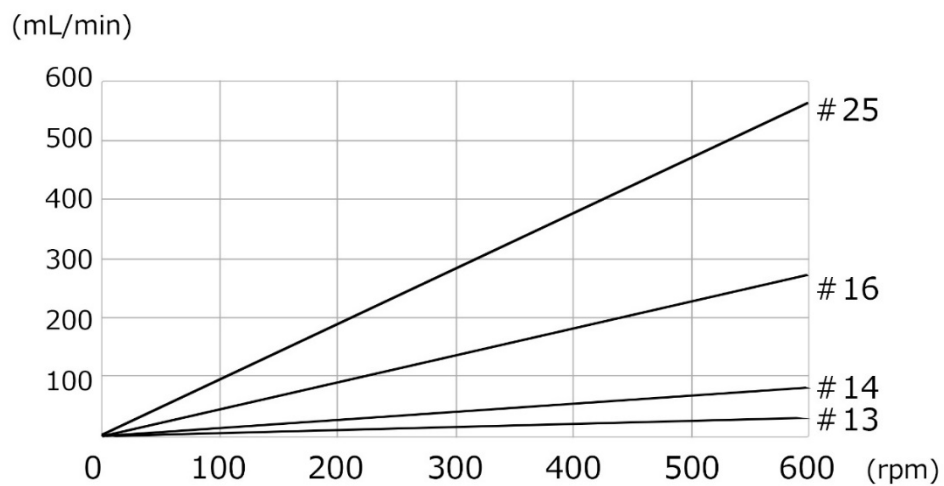


4. ポンプヘッドの仕様

4.1 ポンプヘッドの技術仕様

ポンプヘッド	適応チューブ		ml/rev	回転数 rpm	流量域 ml/min	重量 kg
	サイズ	内径×肉厚				
KT15	# 13	0.8×1.6	0.033	0.1~600	0.003~19.9	0.096
	# 14	1.6×1.6	0.156		0.015~93.4	
	# 16	3.2×1.6	0.477		0.047~286.3	
	# 25	4.8×1.6	0.933		0.093~560.0	

4.2 フローチャート



5. トラブルシューティング

ポンプヘッドが回転しているにもかかわらず流量が少ない、または送液しない場合は下記を確認してください。

- ・吸引側に正しく液体がセットされているか
- ・吸引側の配管経路に何らかの障害がないか
- ・チューブに断裂や著しいへたりがないか
- ・チューブの捻じれや内部に異物がないか
- ・チューブの肉厚は 1.6t に間違いはないか
- ・すべてのバルブがオープンになっているか
- ・ポンプの回転方向は正しいか

6. メンテナンス

- ポンプヘッドを使用しない時は、なるべくチューブを掛けずにフリップトップを開けた状態で保管してください。特に長い間使用しない場合は必ず行ってください。
- ポンプヘッドのローラーは汚れを取り除き乾燥させておいてください。
それによりチューブの摩耗を少なくし寿命を延ばします。またポンプヘッドローラーへのダメージも軽減されます。
- ポンプヘッドは腐食性のある液体には対応していません。それを使用する際は細心の注意を払ってください。
- ポンプを使用する前には都度チューブの状態を検査してください。
- ポンプヘッドが液体に浸ってしまった場合には吸水性の高い柔らかい布で素早くふき取ってください。
- チューブを外した際は液漏れやチューブしごき粕をチェックし、再度同じチューブを使用する場合は流量校正を行ってください。それにより正しい流量が確保できます。

7. 保証とアフターサービス

ポンプヘッドの保証期間は弊社出荷より 1 年間となりますが、以下の場合は例外となり保証対象外となります。

製品を誤った使用、故意によるダメージや故障には責任を負いかねます。

またこの保証は移設、据付、輸送又はその他の諸費用に関する費用は含まれません。

もしポンプヘッドが保証期間内に保証対象であると弊社の技術部門が認めた場合には、その対象となる部品等は無償にて交換しますが、輸送に関わる費用はユーザー様にてご負担お願いいたします。

例外：

- 通常使用による摩耗やダメージまたはメンテナンス不足からくるダメージのための無償交換、サービスは負いかねます。
- 全てのチューブやその付属品などの消耗品は保証対象外です。
- 天災等による故障、例えば落雷などは保証対象外です。
- 薬品等によるダメージも保証対象外です。
- 誤った使用や故意によるダメージも保証対象外です。